

1. 会議の開催

- ① 一般社団・財団法人法第96条、第197条及び定款第41条の規定に基づき、決議の目的である事項について評議員および理事全員の書面又は電磁的記録による同意の意思表示、また監事については異議のない旨の意思表示があったため、当該議案承認の決議があったものとみなし、評議員会2回、理事会3回を実施した。

2. 機関誌の発行

- ① 令和2年度においては休刊、隔月発行としたが、令和3年度4月号より、毎月発行を再開。年齢および習熟度に合わせた『不二一般版』・『不二中高版』・『不二小学上級版』・『不二小学初級版』・『ぺんの力』を発行、研究誌『書学』を継続発行した。

- ② 『不二』各誌の更なる充実を図り、伝統書道の継承、発展に貢献した。

《令和3年度各誌発行部数》

『不二一般版』	85,250部
『不二中高版』	59,550部
『不二小学上級版』	102,050部
『不二小学初級版』	71,300部
『ぺんの力』	44,600部
『書学』	2,050部
年間発行部数	364,800部

- ③ 初級版・上級版・中高版の会員を対象とし、段級や展覧会スケジュール等の管理の為に役立つ「2022年度 不二書道手帳」を発行し、会員各位に贈呈した。

3. 月例競書審査会の実施

- ① コロナ禍の影響により、令和2年度は隔月で実施していた月例審査会は、令和3年4月より、感染防止対策を講じた上で、毎月実施した。
- ② 審査会は、審査員の密を避けるため、木曜日（上級版）、金曜日（初級版）、土曜日（中高版）、日曜日（一般版・ぺんの力）の4日間に分散し、会場を東京都千代田区にある書道学会本部とし、実施した。
- ③ 公正な段位および級位認定を行う審査実施のため、引き続き各地の優秀教場・教室長を地方審査員として迎え全国的な連帯を図った。
- ④ 会員より出品された優秀作品を誌上および本会ホームページにおいて発表した。

4. 会友試験の実施

① 『不二一般版』第65回会友試験を令和3年11月に実施した。

・総受験者数	5名
・合格者累計数	751名

② 『ぺんの力』第54回会友試験を令和3年11月に実施した。

・合格者累計数	218名
---------	------

5. 会員登録の実施

① 公認段級位制の確立の一環として『不二一般版』・『不二中高版』・『不二小学上級版』『ぺんの力』に於いてコンピュータによる段級管理を継続実施した。またインターネットによる段級位の発表を行い、国内・海外の会員等に対し学習のサポート体制の強化を図った。

② 会員に対するサービスの迅速化を図るため、書学院・通信教育の会員データを統合した会員システムの構築を行った。

6. 表彰・段級認定の実施

① 令和4年4月3日（日）開催予定であった「令和3年度優秀教場・教室長表彰式」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

令和3年度の表彰対象者は教場長61名、教室長244名の併せて305名。内、新規優秀教場長4名および、新規優秀教室長18名の計22名には表彰状の他、新たに認定教場、教室の標札を発行し送付した。

② 各教場・教室長推薦の下、優秀教室会員表彰を行った。表彰者は学生、一般の計250名。その他、段級証明書1,102通、段級認定書47通を発行した。

7. 検定試験の実施

① 第61回全国書道検定試験

《師範試験》 受験者なしの為、実施せず。

《司教・助教》自宅試験（春）令和3年5月22日（土）～6月7日（火）

《司教・助教》自宅試験（秋）令和3年10月16日（土）～11月2日（火）

師範合格者	0名
司教合格者	5名
助教合格者	16名
合格者総数	21名
その他に書学院師範合格者	65名（書道）
これまでの師範取得者累計	16,713名

② 第41回全国ペン硬筆検定試験

《師範試験》 受験者なしの為、実施せず。

《司教・助教》自宅試験（春）令和3年5月22日（土）～6月7日（火）

《司教・助教》自宅試験（秋）令和3年10月16日（土）～11月2日（火）

師範合格者	0名
司教合格者	2名
助教合格者	6名
合格者総数	8名
その他に書学院師範合格者	11名（ペン）
これまでの師範取得者累計	1,333名

③ 第90回級位認定書道検定試験

自宅試験 令和3年5月22日（土）～6月7日（火）

- ・ 上級認定者 3名
- ・ 中級認定者 9名

④ 第91回級位認定書道検定試験

自宅試験 令和3年10月16日（土）～11月2日（火）

- ・ 上級認定者 9名
- ・ 中級認定者 7名

⑤ 第80回級位認定ペン硬筆検定試験

自宅試験 令和3年5月22日（土）～6月7日（火）

- ・ 上級認定者 6名
- ・ 中級認定者 2名

- ⑥ 第81回級位認定ペン硬筆検定試験
 自宅試験 令和3年10月16日(土)～11月2日(火)
 ・ 中級認定者 2名

8. 文部科学省認定社会通信教育の実施

- ① 文部科学省認定講座
 ・「書道基礎科講座」「書道専攻科講座」「ペン習字基礎講座」
 「ペン習字教育講座」「篆刻入門講座」の5講座を継続開講した。

- ② 併設講座
 ・「速習ペン字講座」「写経入門講座」の2講座を継続開講した。

- ③ 学習方法
 通信講座の受講者には、一括して教材を配布し、提出された課題の清書作品は講師の添削・講評を付して採点結果を返送。各講座の所定の課程を修了した者には、文部科学省認定本通信教育修了証を授与。

④ 年間受講者数

書道基礎科講座	162名
書道専攻科講座	49名
ペン習字基礎講座	316名
ペン習字教育講座	51名
篆刻入門講座	4名
速習ペン字講座	18名
写経入門講座	14名
合計	614名

- ⑤ 受講修了者表彰
 ・講座受講修了者の中で、成績優秀者を対象に文部科学大臣賞の授与を行う予定だったが、受賞者は選考されたものの、授賞式は新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。
 ＊文部科学大臣賞受賞者 4名

- ⑥ 生涯学習インストラクター
 ・生涯学習1級インストラクター2名、2級インストラクター7名を社会通信教育協会の人材バンクに登録。現在まで1級延べ292名、2級延べ613名。

9. 指導者育成事業

- ① 新型コロナウイルス感染防止のため休講としていた神田書学院は、令和3年4月より、感染防止対策を講じた上で受講を再開した。
I期受講生数 283名 II期受講生数 293名 III期受講生数 305名
受講生合計 881名
- ② 新型コロナウイルス感染防止のため休講としていた川奈書学院は引き続き休講とし、九州書学院は令和3年8月31日をもって、大阪書学院は令和4年1月31日をもって閉校した。
- ③ 夏季講座・冬季講座の開講
夏季講座を予定していたが、新型コロナウイルスの影響を受け、縮小し、4講座のみ開講。また「昇段試験対策講座」では郵送添削を行い、コロナ対応型の講座を模索した。参加受講生は95名となった。
冬季講座を令和3年11月19日（金）より令和4年2月6日（日）まで実施した。参加受講生は97名となった。
- ④ 書学院卒業式を令和4年4月30日（土）神田書学院に於いて挙行了た。
卒業作品を展示する第45回書作展を開催。会場展示だけでなく、360度カメラを使ったWeb展も開催した。
※第45回 書作展 令和4年4月29日（金）～5月1日（日）の3日間
会場：神田書学院
令和3年度卒業生75名 うち師範取得者74名

10. 公募展の開催

(ア) 第43回全国公募千字文大会 (共催 日本書道藝術専門学校)

令和3年9月25日から令和3年9月27日の会期で展覧会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度第42回展に引き続きやむなく中止となった。

展示予定の全作品をホームページならびに本会発行の「不二一般版」・「ペンの力」・「不二中高版」・「不二上級版」・「不二初級版」令和3年10月号に収録することで、作品を広くご鑑賞いただいた。

- ① 会場 日本書道藝術専門学校・東洋文化不二研修所
- ② 会期 令和3年9月25日(土)～27日(月)
→ (会場での展示は中止)
- ③ 表彰式 令和3年9月26日(日) → (中止)
於 日本書道藝術専門学校および東洋文化不二研修所
- ④ 褒賞 文部科学大臣賞、静岡県知事賞、伊東市長賞他
- ⑤ 総出品点数 9,333点

【毛筆・篆刻の部】 6,789点

特別賞43点 特選978点 優秀1,366点
秀作2,357点 佳作2,043点

【硬筆の部】 2,544点

特別賞25点 特選380点 優秀513点 秀作874点 佳作752点

(イ) 書初不二誌上展の実施

- ① 審査会 令和4年1月23日(日)
- ② 特選作品および成績を『不二』3月号誌上、本会ホームページにて発表した。
- ③ 出品点数 5,732点
 - 【小学初級の部】 1,828点
特選 334点 金賞 404点 銀賞 549点 銅賞 541点
 - 【小学上級の部】 1,951点
特選 364点 金賞 429点 銀賞 582点 銅賞 576点
 - 【中学・高校の部】 818点
特選 139点 金賞 182点 銀賞 254点 銅賞 243点
 - 【一般の部】 973点
特選 180点 金賞 212点 銀賞 312点 銅賞 269点
 - 【ペンの部】 162点
特選 30点 金賞 36点 銀賞 50点 銅賞 46点

(ウ) 第71回書道學會展

昨年度実施予定だった「創立70周年記念 第70回書道學會展並びに第70回全日本学生書道展」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためやむなく中止となったが、その影響も少しずつ落ち着きを見せ始め令和3年度は以下の通り開催した。

- ① 会 場 第一会場 東京都美術館 2階 第3・4展示室
第二会場 東京芸術劇場 5階 ギャラリー1
- ② 会 期 令和4年1月4日(火)～10日(月)
- ③ 授 賞 式 令和4年1月8日(土) 於 東京都美術館講堂
- ④ 褒 賞 内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、中国大使賞、東京都知事賞他
- ⑤ 出品点数 579点(公募+役員)
- ⑥ 入場者数 1,939人

【第1会場】

公 募 出 品 数 217点
(第1部84点・第2部99点・第3部19点・第4部5点・第5部10点)
展 示 対 象 点 数 400点(公募199点+役員出品201点)

【第2会場】

公 募 出 品 数 161点
(第1部61点・第2部74点・第3部23点・第4部3点)
展 示 対 象 点 数 151点

本会発行の「不二一般版」・「書学」令和4年2月号に於いて役員、一般公募の優秀作品を特集し、また、ホームページで紹介した。

(エ) 第71回全日本学生書道展

- ① 会 場 東京都美術館 2階 第2・3展示室
- ② 会 期 令和4年1月4日(火)～10日(月)
- ③ 授 賞 式 令和4年1月8日(土) 於 東京都美術館講堂
- ④ 褒 賞 文部科学大臣賞、中国大使館賞、東京都教育委員会賞他
- ⑤ 出品点数 2,541点
(内小学生1,302点+中高生1,239点)
- ⑥ 展示点数 2,260点
(内小学生1,169点+中高生1,091点)
- ⑦ 入場者数 2,824人
- ⑧ 本会発行の「不二中高版」・「不二上級版」・「不二初級版」令和4年1月号に於いて優秀作品を特集し、また、ホームページで紹介した。

(オ) 第35回不二現代書展

令和2年3月実施予定であった第33回不二現代書展より2年間、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた同展は、新型コロナウイルスワクチンの接種などの対策が進み令和3年度は以下の通り開催した。

- | | | |
|---|---------|------------------------|
| ① | 会 場 | 大阪市立美術館 |
| ② | 会 期 | 令和4年3月16日(水)～21日(月) |
| ③ | 授 賞 式 | 令和4年3月21日(月) 於 大阪市立美術館 |
| ④ | 褒 賞 | 文部科学大臣賞、大阪府知事賞、大阪市長賞他 |
| ⑤ | 出品点数 | 343点(公募+役員) |
| | 公募出品点数 | 210点(第1部154点・第2部56点) |
| | 一字書優秀作品 | 59点 |
| | 役員出品点数 | 133点 |
| ⑥ | 展示点数 | 385点 |
| | 公募出品点数 | 193点(第1部142点・第2部51点) |
| | 一字書優秀作品 | 59点 |
| | 役員出品点数 | 133点 |
| ⑦ | 入場者数 | 803人 |

「書学」・「不二一般版」・「ぺんの力」・「不二中高版」令和4年4月号に於いて優秀作品と共に特集した。

11. 二百万巻寫經推進事業

① 写経塔・筆塚供養祭開催の中止

令和3年10月3日(日)東洋文化不二研修所に於いて実施予定だった供養祭は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑み中止となった。

② 令和4年3月31日現在 納経巻数 1,531,838巻

12. 書道教育推進事業

- ① 日本書道藝術専門学校校長の主導により推進されてきた「書道教育特区」は、その教育成果、実績が認められ、平成21年度より「書道科書道」の授業が全国展開されるに至った。本会でも全国展開を受けて、引き続き静岡県内小学校12校への講師の派遣支援を行った。

13. 新和様・漢字造型書作家協会の活動

① 会報37号の発行

協会の各事業の報告と、展示が中止となった第33回色紙展の出品作147点を収録し、会員に配布した。

② 第33回 新和様・漢字造型書作家協会 色紙展

令和3年8月27日(金)より29日(日)まで、神田書学院に於いて開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響を鑑み、展示を中止した。

③ 第27回 新和様・漢字造型書作家協会 選抜展

令和3年7月20日(火)より25日(日)まで、東京芸術劇場に於いて開催。新和様作品または漢字造型作品93点を展示。

新和様・漢字造型書作家協会会員が日頃研究を行っている新和様書と漢字造型書への研究成果を発表した。

「書学」令和3年9月号において特集した。

14. 第13回「漢字造型」と「伝統の寫經」展

- ① 毎年9月に東京銀座の鳩居堂画廊に於いて実施していた「漢字造型」と「伝統の寫經」展は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑み中止とした。

15. 伊豆川奈東洋文化不二研修所

- ① 2019年12月初旬に中国の武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により、新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑み全面閉鎖とした。

16. 講習会・書道展の後援協力

- ① 全国の書道展・講習会に後援協力した。本年度後援件数 6件

17. 石橋犀水遺業顕彰活動

- ① 石橋桂一理事長、石橋智子評議員長監修の下、石橋犀水前会長の作品を特別紙に印刷した本格的アートカレンダーを刊行した。